令和４年度　事業報告書

公益財団法人富山市ファミリーパーク公社

令和４年度公益財団法人富山市ファミリーパーク公社事業報告

Ⅰ　概要

「人を元気に、森を元気に、いのちを元気に、地域を元気に」をコンセプトに動物や里山の資源を活用するとともに、呉羽地域等との連携の強化を図り、市民が気軽に訪れ、楽しめる事業の充実を目指した。

令和４年度は昨年度に引き続き、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大を受け、予定していた催物は、感染状況をみながら、中止または感染対策を講じて可能な範囲で実施した。

そのような中、５月３日には、昭和５８年４月２８日の開園からの入園者数が1000万人に到達し記念式典を開催した。

さらに、「富山市ＳＤＧｓ未来都市計画」に関する取組に参画するなど、富山市や地域の各種団体、大学、企業等と連携を図りながら、ファミリーパークの呉羽丘陵における拠点として多様な活用を推進する事業を進めてきた。

Ⅱ　事業報告

１　熱帯鳥類保全事業の推進

（１）熱帯鳥類の保全を目的に、富山市への寄付金を活用し建設された熱帯鳥類館「バードピア」を９月１７日に公開を開始した。

（２）熱帯鳥類保全施設を市民に広く周知するため、公開に合わせてフライトショーなど公開イベントを開催した。また、公開後も定期的にガイド等イベントを開催した。

２　「富山市SDGｓ未来都市計画」協力事業

地域の団体や大学と連携し、「呉羽丘陵フットパス」を活用した月いちウオークを実施するとともに、環境教育事業として五感で自然及び動物の能力を楽しみながら実感できる体験展示を設置した。

３　富山市ファミリーパーク開園40周年記念事業

令和６年に開園40周年を迎えることから、40周年記念事業について富山市と協議しながら検討した。

４　新整備計画の推進および老朽化対策を見据えた事業

富山市ファミリーパークが市民の集う持続可能な施設となるために、今後の整備計画や経営の見直しの参考とするため、入園者のアンケート調査や他園の現状等調査を実施した。

□

5　ライチョウ基金事業

令和3年度に引き続き、ライチョウの保全を目的として平成29年に設立した本基金を有効に活用し、公益社団法人日本動物園水族館協会（以下、JAZA）が実施する「ライチョウの飼育繁殖技術の確立事業」に必要な支援や人材育成事業を推進した。

（1）ライチョウ基金運営委員会の開催について

6月にライチョウ基金運営委員会を書面表決で開催し、次の事項を審議し承認された。なお、開催については、新型コロナウイルス感染拡大の状況から書面表決とした。

① 令和3年度事業報告および収支決算報告
② 令和4年度事業計画および収支予算

（2）JAZAが取り組む「ライチョウの飼育繁殖技術の確立事業」への支援

環境省の「ライチョウ保護増殖事業」においてJAZAとライチョウ飼育園館が協力して取り組む生息域外保全で飼育繁殖技術の確立を目指した以下のことについて支援した。

① 飼育繁殖技術の確立を目指した大学との共同調査研究。
② 産卵数の抑制および受精卵率、孵化率、成育率の向上など技術開発。
③ 野生復帰に資する資質を持つ飼育下集団をつくるための繁殖技術の確立に向けた技術開発。

（3）人材育成事業

生息域内保全と生息域外保全の連携体制の強化を目的とし、中央アルプスにおけるケージ保護事業にライチョウ飼育園館職員の派遣を支援した。

（4）ライチョウ基金シンポジウム2023開催

令和5年3月5日、サンシップとやまにてライチョウ基金シンポジウム「ライチョウ、山へかえる！」を開催し、環境省が行っている中央アルプス野生復帰事業について、ＪＡＺＡや加盟園館での取り組みを紹介した。202名の参加者があった。

6　希少動物保全基金事業

富山市ファミリーパーク公社における、希少種の保全に関する技術開発および人材育成を目的として令和3年に設立した本基金を有効に活用し、希少動物の飼育、繁殖技術開発および人材育成など、生物多様性の保全を目的とした公益事業を推進した。

（1）ヨウム繁殖プロジェクト事業

令和4年から飼育展示を開始した絶滅危惧種ヨウムについて、野生復帰を想定した飼育下繁殖技術の確立に向けた以下の事業を開始した。

① 群れまたはペア形成の技術開発。

想定した飼育下繁殖技術の確立に向けた以下の事業を開始した。

② 群れまたはペア形成の技術開発。

③ 糞中の繁殖ホルモン及びストレスホルモン測定の分析(連携事業)。

④ 飼育下繁殖技術の確立を目的としたワーキンググループ会議の開催。

⑤ 人材育成のため、ヨウム及び熱帯産鳥類の飼育状況先進地視察。

（2） 普及啓発活動

「ヨウム繁殖プロジェクト事業」についての普及啓発を目的に、冬季に講演会を３回開催した。

	日程	講師	演題	参加者数
第１回	令和４年 12月11日	村井仁志 氏 (ファミリーパーク園長)	バードピアとヨウム繁殖プロジェクト	41名
第２回	令和５年 1月15日	牛田一成 氏 (中部大学 ヨウム繁殖プロジェクト共同研究者)	ウガンダ共和国におけるヨウムの保全の仕組みづくり	44名
第３回	令和５年 2月12日	白石利郎 氏 (横浜市繁殖センター)	動物園が取り組む外国産希少鳥類の保全	42名

（３）基金の周知

基金の目的を広く、市民・県民・国民に周知し、基金への寄附を募っていくためパンフレットを作成し、配布した。

7　公益目的事業

昨年に引き続き、新型コロナ感染症の状況に応じた対策を講じながら、各種イベントの実施や、地域連携した企画の立案など徐々にコロナ禍前に近づけるような事業展開を行った。

（１）施設管理事業

①新型コロナウイルス感染拡大防止について

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の臨時休園は無かったが、園内には非接触型手指消毒器や体温感知器の設置、食堂のテーブルや座席間隔の確保、遊具の乗車定員の制限等の対策を継続して行い、感染拡大防止に努めた。さらに、富山市により感染予防対策の設備改修で園内トイレに非接触型の水栓や便座、屋内施設に空気清浄機や自動扉等が設置された。

②入園者の状況について

令和５年３月末までの入園者は297,677人で、前年同期比29,701人増加した。新型コロナウイルス感染症が一定の落ち着きを見せ、行動規制が徐々に解除されたが、冬期に低気温が続いたことなどから、今年度の目標入園者数の330,000人に到達できなかった。

施設利用状況　　（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

区分			人数	金額	前年度実績 人数	前年度実績 金額
入園者	有料エリア	個人・大人	66,837人	33,418,500円	52,625人	26,312,500円
		70歳以上	552人	138,000円	431人	107,750円
		団体・大人	8,124人	3,249,600円	8,616人	3,446,400円
		共通パスポート	19,627人		18,818人	
		有料計	95,140人	36,806,100円	80,490人	29,866,650円
		無料計	119,439人		102,163人	
		※内、「孫とおでかけ支援事業」利用者	21,909人 組数(7,041組)		18,080人 組数(5,949組)	
		計	214,579人		182,653人	
	無料エリア計		83,098人		85,323人	
入園者計			297,677人	36,806,100円	267,976人	29,866,650円
遊具使用者	子供列車		23,423人	4,684,600円	15,458人	3,091,600円
	アニマルコースター		12,819人	2,563,800円	13,069人	2,613,800円
	メリーゴーランド		23,312人	4,662,400円	15,671人	3,134,200円
	パラトルーパー		34,020人	6,804,000円	22,921人	4,584,200円
	キャラクターカー		15,978人	3,195,600円	12,374人	2,474,800円
	ボート		5,950人	2,380,000円	4,746人	1,898,400円
	メロディーペット		996人	199,200円	707人	141,400円
	電気周遊車		14,034人	1,403,400円	7,966人	796,600円
	遊具使用(有料)計		130,532人	25,893,000円	92,912人	18,735,000円
	遊具使用(無料)計		3,697人		2,730人	
遊具使用者計			134,229人	25,893,000円	95,642人	18,735,000円
合計				62,699,100円		48,601,650円

（２）動物管理事業

生物の多様性や人と動物の関わり、いのちの大切さを伝えることを目的に、動物 98 種 792 点（令和 5 年 3 月 31 日現在）の展示および教育普及に努め、日本産動物及び外国産希少野生動物の飼育展示の充実や繁殖技術の確立、並びに日本在来家畜の保存活用に努めた。

また、昨年度に引き続き、環境省のライチョウ保護増殖事業計画に参画し、ライチョウの飼育繁殖技術の向上に努めた。

本年度、9 月には熱帯鳥類館「バードピア」を公開し、～熱帯の鳥類の多様性を知り、人と動物との共存を考える～テーマに展示を開始した。

飼育動物種数および点数（令和 5 年 3 月 31 日日現在）

		種数点数
飼育動物の種数(令和 5 年 3 月 31 日現在)		98 種　792 点
内　訳	哺乳類	43 種　381 点
	鳥類	39 種　364 点
	爬虫類	7 種　16 点
	両生類	3 種　15 点
	魚類	6 種　16 点
	甲殻類	0 種　0 点
増加動物の種数（令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日）		49 種　286 点
減少動物の種数（令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日）		73 種 201 点
（公財）日本動物園水族館協会　血統登録動物の種数		26 種　97 点

①飼育展示事業

令和 4 年 9 月に公開した熱帯鳥類館「バードピア」では展示の充実および繁殖を推進するために、ヨウムやヒワコンゴウインコなど 12 種 36 点の展示を開始した。

また、同様に展示の充実および繁殖に取り組むためにニホンカモシカ（オス 1 頭、メス 1 頭）やタンチョウ（オス 1 羽）、ニホンコウノトリ（オス 1 羽）などを搬入した。

その他、繁殖したアミメキリンの親子展示を行い、いのちの大切さを伝える展示に取り組んだ。

②繁殖研究事業

繁殖を推進していたアミメキリンが 8 月に出産し成育した。トウホクノウサギやホンシュウモモンガ、オシドリなどの日本産動物の継続的な繁殖に努め、オオタカの繁殖に当園では初めて成功した。その他、パルマワラビーやコモンリスザルや熱帯鳥類館「バードピア」の展示種であるオキナインコの

繁殖を推進した。また、飼育・繁殖にかかわる調査研究によって得られた成果や情報を、リモート会議などで発表した。

繁殖を目的とした貸借契約動物

	動　物　名
借り受け動　物	【哺乳類】 コモンリスザル(2)・ワオキツネザル(1)・アムールトラ(1) アムールヤマネコ(1)・シセンレッサーパンダ(2) ユーラシアカワウソ(2)・アミメキリン(2)・グレビーシマウマ(1) ニホンカモシカ(4)・シンリンオオカミ(1)・ミーアキャット(1) ヒツジ（12)・チンチラ（1)・パルマワラビー（1) 【鳥類】 ルリコンゴウインコ(2)・アカコンゴウインコ（1)・ミゾゴイ(1) メンフクロウ(1)・カンムリシロムク（3)・フンボルトペンギン（2) ヨウム（2)・シロビタイムジオウム（2)・ソデグロバト（6) パラワンコクジャク（1)・ヒワコンゴウインコ（1) 25種54点
貸し出し動　物	【哺乳類】 グレビーシマウマ(2)・アミメキリン(1) 【鳥類】 フンボルトペンギン(1) 3種4点

今年度繁殖した動物（令和5年3月31日現在）

動　物　名	繁殖頭数	完全成育	繁殖区分	繁殖年月日
アミメキリン	1	1	自然	8/19
オオタカ	3	2	自然	5/26（2)、5/28（1)
オキナインコ	3	3	自然	6/1（1)、6/3（2)
カルガモ	6	5	人工	5/3（1)、5/4（1)、5/24（3) 5/25（1)
オシドリ	13	12	人工	5/5（5)、5/6（7)
コモンリスザル	1	1	自然	7/22
スバールバルライチョウ	1	0	自然	8/6
トウホクノウサギ	1	0	自然	8/17
ツクシガモ	2	2	人工	6/8（1)、6/9（1)
パルマワラビー	1	1	自然	8/19
フンボルトペンギン	1	0	自然	4/4
ホンドザル	2	1	自然	7/20、7/26

ミゾゴイ	2	0	人工	6/258、7/9
ホンシュウモモンガ	7	7	自然	5/9（3）、10/27（4）
シラコバト	1	0	自然	2/1
合計	45	35		

③ 教育普及事業

「動物たちにゴハンをあげよう」や、動物の食事風景を見ることができる「ごっくんタイム」は感染対策を取りながら実施した。子供動物園では「動物なるほど教室」や、小中学校の総合的な学習や大学の課外実習などの受け入れも感染対策を講じながら再開した。令和5年3月15日の春の開園からは、人数を制限してモルモットとのふれあいを再開した。

また、第47回動物愛護に関する標語コンクール(日本動物園水族館協会主催)で、当園で応募された作品が全国から寄せられた作品を対象とした中央審査で金賞を受賞した。

事　　業　　名	実施回数	参加者数
① どうぶつガイド		
キリンに木の葉をあげよう	108回	2,877名
オオカミにお肉をあげよう	110回	2,869名
② 子供動物園事業		
コンタクトコーナー（動物とのふれあい）	84回	870名
動物なるほど教室	6回	273名
③ ごっくんタイム	2,732回	24,459名
④ 催し物事業		
a.春イベント ・動物たちの新生活応援！パネル展	10日	2,431名
b.飼育の日 ・パネル展「知ってる？飼育係のお仕事」 ・特別ガイド「動物園の台所探検ツアー」	 9日 8回	 103名
c.ゴールデンウィーク ・ヒツジの毛刈り ・あしうらクイズラリー	 5回 7日	 670名 15,425名
d.世界カワウソの日イベント ・絵本の読み聞かせ ・ランチトーク ・動物ガイド「知って守ろう！カワウソ」	 4回 4回 4回	 60名 72名 93名

e.オウム・インコの日イベント		
・企画展示「熱帯鳥類がやってくる」塗り絵	23日	264枚
・動物ガイド「オウムインコデーキーパートーク」	8回	68名
f.ドリームナイト・アット・ズー		
・動物解説	1日	480名
g.夏休みイベント		
・ひえひえおやつタイム	12回	158名
h.悠久の森2022イベント		
・パネル展「発見！呉羽丘陵の動物」	1回	84名
・「特別ごっくんタイム」	2回	42名
i.ナイトズー（8月、9月）		
・動物スポットガイド	3回	2,105名
j.熱帯鳥類館バードピアオープニングイベント		
・オリジナル缶バッチプレゼント	1日	200名
・インコフライトショー	2回	242名
・江戸家小猫の鳴き真似ライブ	2回	165名
・小宮元上野動物園園長と村井園長のトークショー」	1回	41名
・動物ガイド「熱帯鳥類館バードピア」	27回	356名
k.輝け！いのちの集い2022		
・クイズラリー	1日	300名
l.ツシマヤマネコの日イベント		
・パネル展「知って守ろう！ツシマヤマネコ」	31日	—
・動物ガイド「ヤマネコの仲間たち」	3回	34名
m.秋イベント		
・ハロウィン特別ごっくんタイム	24回	346名
・クイズラリー「動物たちの身体能力を知ろう！」	11日	1,382名
・特別ガイド「動物たちの身体能力を知ろう！」	25回	483名
n.「カピバラの湯イベント		
・スペシャルごっくんタイム「冬のカピバラあったか生活」	8回	262名
o.干支イベント		
・ウサギの変身グッズをつくろう	6回	32名
・ウサギと年賀状写真を撮ろう	6回	408名
・干支特別ガイド「ウサギを知ろう」	9回	72名

p. 冬季開園イベント		
・ズームアップかんさつ会「熱帯の鳥たち」	3回	62名
・クリスマスごっくんタイム	6回	72名
・ホットなどうぶつガイド		
・冬を生き抜くひみつにせまる	4回	21名
・キリン舎バックヤード探検	5回	102名
q.春イベント		
・見せたい！伝えたい！動物の魅力！	10回	229名
r.第38回富山市ファミリーパーク動物写生コンクール		
・応募	67日	451名
・表彰式（特選）	1日	26名
・入賞作品展示	100日	—
s.第47回動物愛護に関する標語の募集		
・受賞作品：「会いに行こう！」もっとよく知る　第一歩	31日	60名
⑤ 教育事業（実習・研修）		
a.小学校・中学校　校外学習（総合的な学習など）		
・14歳の挑戦	2校	8名
・園内解説「キャリア教育」	2回	75名
・園内解説「どうぶつえんのじゅうい」	7回	379名
・園内解説（教育センター不登校支援事業）	1回	30名
・園内解説（教育センター適応指導教室）	1回	20名
・園内解説（富山市観光協会観光サポーター）	1回	22名
・園内解説（富山県立大学1年生）	1回	14名
b.大学実習		
・富山大学理学部「基礎生物学セミナー」	1校	12名
・富山国際大学こども育成科学部	1校	92名
⑥ 協賛・共催・協力事業		
a.地域連携事業		
・古沢保育所「ファミリーパーク里山自然体験」	1日	21名
・古沢小学校飼育体験	2回	16名
b.ジョブキッズ富山「飼育体験」	2回	14名

c.研究協力 ・東京農業大学 「カモシカ眼下腺分泌液に関する研究」 ・岐阜大学 「オオカミ・カモ類の遺伝子に関する研究」 ・岐阜大学 「糞中の食性に関する研究」 ・千葉大学 「生魚食動物の腸内細菌叢に関する研究」 ・中部大学 「ニホンライチョウの味覚に関する研究」 ・東京農業大学 「シカの尿中成分に関する研究」 ・富山県立大学 「生態調査の元となる動物の鳴き声データの収録」		
⑦　講演会		
・第 17 回富山市環境保健衛生大会 ・KNB 女性セミナー ・輝けいのち協議会「いのちの講話」 ・富山大学理学部授業科目「地球生命環境理学」 ・県民カレッジ砺波地区センター「人生 100 年時代講座」 ・第 20 回ライチョウ会議長野駒ケ根・宮田大会 ・富山市観光協会　観光サポーター ・日本海シンポジウム「潟と日本人―日本海の生態史」 ・富岩運河の水鳥観察会及び水鳥講座 ・第 1 回自然と人との共生フォーラム		80 名 250 名 22 名 163 名 50 名 300 名 22 名 102 名 22 名 360 名
⑧　ライチョウ基金事業 ライチョウ基金シンポジウム 2023 「ライチョウ、山へかえる！」	1 日	202 名

④在来馬保全活用事業

木曽馬や野間馬、対州馬などの在来馬の展示と保存に努めた。また、今後の保全活用を継続するため、木曽馬 1 頭の種付けを実施したが、受胎には至らなかった。また、在来馬を活用した乗馬やエサやり体験は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら実施した。

⑤ライチョウ保護増殖事業

ファミリーパークでは富山市が環境省から確認を受けた「ライチョウ保護増殖事業計画」のもとで、平成27年よりJAZAおよびライチョウ飼育園館と協力し、生息域外保全における飼育繁殖技術の確立を目指している。

今年度も、令和元年から引き続き母鳥の抱卵・育雛による繁殖方法（自然繁殖）に取り組んだが、繁殖予定のオスが5月上旬に死亡したので遺伝的な多様性の維持のため新しいペアを形成させた。母鳥の抱卵・育雛による繁殖を進めるために別の2羽のメスの卵と交換を行ったが、ヒナの孵化に至らなかった。

また、環境省が取り組みを行っている中央アルプスにおける野生復帰事業に協力し、当園の受精卵3卵を長野市茶臼山動物園に提供したが、孵化した2羽のひなは孵化後3週間程度で死亡した。

現在、ファミリーパークではオス8羽、メス11羽の計19羽のニホンライチョウを飼育している。

また、ニホンライチョウの展示を通して、その生息環境の現状と保全の大切さを伝えるため普及・啓発を行った。

⑥ホクリクサンショウウオ保護増殖事業

呉羽丘陵産の個体の生息域外保全に取り組むため、新規個体を導入し、飼育下での繁殖技術の確立に向けた研究を行った。

（3）地域事業

①くれは悠久の森事業

地域施設や住民と連携して取り組んでいる悠久の森フェスタ2022は、新型コロナ感染拡大防止の措置をとり、以前より縮小した形で3年ぶりに実施した。また、秋の呉羽丘陵散策を新規連携事業として実施し、呉羽丘陵の魅力を伝えた。

ホクリクサンショウウオ保全プロジェクト事業では、実行委員会内の小学校に里親事業の協力を広く呼びかけ、昨年までの3校から8校に参加が増え、より多くの児童に保全の必要性を伝えることができた。

事　　業　　名		実施日数	参加者数
① 悠久の森実行委員会（役員会含む）		3日	37名
② 悠久の森コーディネーター会		4日	45名
③ 悠久の森2022「森ですごそう」		1日	4,294名
④ くれは悠久の森連携事業（くれは里山ネット）	くれはdeお泊り会 in オータム	1日	49名
	秋の呉羽丘陵散策 ～ランチとファミリーパークを楽しもう～	1日	20名

⑤ホクリクサンショウウオ保全プロジェクト事業	出前授業	8日	241名
	生息地調査	2日	19名
	生息地整備	3日	16名
	サンショウウオの里親	370日	279名
合　計		400日	5,000名

②輝け！いのちの集い事業

富山市ファミリーパークと「輝けいのち協議会」が主催の「輝け！いのちの集い」は新型コロナウイルス感染拡大防止の措置をとり、イベントとして3年ぶりに実施した。また新たに大人を対象とした、いのちに関する講演会を実施した。

事　業　名	実施日数	参加者数
① 輝けいのち協議会	6日	68名
② 参加団体説明会	1日	13名
③ 輝け！いのちの集い2022 「ふれよう　みぢかないのち」	1日	3,715名
④ いのちの講話～動物から学ぶいのち～	1日	22名
合　計	9日	3,818名

③地域連携事業

地域の関係施設や団体と連携した事業を、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとって実施した。

事　業　名	実施日数	参加者数
① 富山市立古沢小学校　総合的な学習	2日	34名
② 富山市立古沢保育所 「ファミリーパーク里山自然体験」	3日	61名
③ アースディとやま2022 （アースディとやま実行委員会）	1日	2,786名
④ とやま森の四季彩親子写真教室 （とやま森の四季彩フォト大賞実行委員会）	1日	24名
⑤ 呉羽丘陵ウォーク（呉羽丘陵ウォーク実行委員会）	1日	66名
⑥ 富山こども大会 （富山市児童クラブ連絡協議会）	1日	550名
⑦ とやま環境フェア	94日	Ｗｅｂ
合　計	103日	3,521名

④ボランティア活動支援事業

市民団体や企業による園内でのボランティア活動については、新型コロナウイルスの感染状況をみながら可能なものについては感染対策を講じながら活動の支援を行った。

団　体　名	活　動　名	実施日数	参加者数
① 市民いきものメイト	総会・運営委員会等	25 日	136 名
	里山整備活動	7 日	38 名
	里山教室	8 日	130 名
② 呉羽丘陵にホタルを呼ぶ会	役員会	1 日	9 名
	会員によるホタル観察会	1 日	105 名
	ホタルと夜とファミリーパーク解説	2 日	13 名
	古沢小学校3.4年生によるカワニナ放流	1 日	18 名
	生息地整備	2 日	12 名
③ 富山県ホタルの会	総会	1 日	31 名
	執行部会・役員会等	3 日	29 名
	研修会	1 日	13 名
	ヒメボタル調査	12 日	16 名
④ きんたろう倶楽部	園内竹整備	3 日	21 名
	呉羽丘陵竹林整備ボランティア	1 日	127 名
	竹林整備準備・片付け	5 日	41 名
	きんたろうの森・わくわくの森整備	12 日	80 名
	わくわくの森植樹	1 日	39 名
	総会・記念講演会	1 日	30 名
⑤ 呉羽丘陵フットパス推進会議	呉羽丘陵フットパス月いちウォーク	12 日	2,309 名
	フットパス下見、整備	12 日	106 名
	会議	15 日	91 名
⑥ 古沢地区ボランティア	植樹地草刈	3 日	14 名
⑦ 富山ライオンズクラブ	竹林整備		雨天中止
⑧ 情報産業労働組合連合会ボランティア活動	幼竹伐採作業	1 日	28 名
⑨ 連合富山富山地域協議会ボランティア活動	花の苗と球根植え付けとゴミ拾い	1 日	43 名

⑩ シルバー人材センターボランティア活動	駐車場清掃	1日	26名
	合　計	132日	3,505名

⑤活性化事業

新型コロナウイルス感染拡大の状況をみながら、一部の催物では人数制限を行う等感染防止対策を徹底し、実施した。

事　業　名		実施日数	参加者数
① ファミリーパーク動物友の会	178回例会、179回例会、180回例会、181回例会、182回例会	5日	127名
② 開園記念日イベント	開園記念日記念ステッカープレゼント	1日	1,000名
	里ノ助の一日園長	1日	230名
③ 入園者1000万人達成記念	入園者1000万人達成記念式典	1日	5名
	入園者1000万人達成記念ステッカープレゼント	1日	1,000名
④ GWイベント	クイズラリー「あしうらクイズラリー」	7日	5,737名
	里ノ助のきまぐれ散歩	6日	803名
⑤ ホタルと夜とファミリーパーク2022	6月18日(土)、25日(土)18:00～21:00 事前募集	2日	1,634名
⑥ ドリームナイト・アット・ザ・ズー	7月2日（土）17:00～19:00	1日	480名
⑦ 夏休みイベント	ファミリーパークの質問しちゃおう		回答数
	質問募集	24日	114
	回答掲示	30日	
	ウォークラリー「里ノ助の宝物探し」	36日	3,000名
⑧ ナイトズー（8月、9月）	8月13日（土）、20日（土） 9月　3日（土）21時まで延長開園	3日	6,151名
	カピバラとかけっこ	3日	290名
	里山ガイド「セミの羽化観察会」	2日	300名
	里山ガイド「夜のどうぶつたち」	1日	100名
⑨ 秋イベント	ハロウィンステージ	9日	—
⑩ 冬期開園イベント	スタンプカードで景品プレゼント	82日	383名
	干支の缶バッジプレゼント	5日	650名
	お正月遊びコーナー	24日	—
	鳥いろいろ工作	3日	106名
⑪ 里ノ助イベント	里ノ助とあそぼう	2日	18名
	水・和・呉のごちそうサーカス	1日	30名

	里ノ助出演　(富山北商工会)		
	合　　計	248 日	20,524 名

⑥広報事業

ファミリーパーク通信「グルーミング」を発行し、市内全小学生に配布するなど、ファミリーパークに関する各種情報や実施事業の案内など情報の発信に努めた。

イベントに関するリーフレットを市内および近隣市町村の保育所、幼稚園に積極的に配布し、ファミリーパークの事業をより多くの方に周知することに努めた。また、毎週ラジオ出演するなど雑誌や新聞、テレビ等の媒体での広報に努めた。

インターネットを用いた広報としては、公式ホームページ、フェイスブック、ツイッター、ユーチューブ、インスタグラムの運用を行った。

ファミリーパークのホームページのアクセス数は 909,260 件となった。また、ツイッターでは 9,874,970 回の閲覧があり、ユーチューブでは、252,942 回の再生回数があった。

このほか、富山市広報課を通じて 74 件の報道リリースを行い、新聞、テレビ、ラジオなどの取材に積極的に対応した。

主な報道リリース

期　日	タ　イ　ト　ル
4 月 12 日	飼育の日イベントについて
4 月 19 日	ツシマヤマネコの死亡について
4 月 20 日	開園記念日と GW イベントについて
4 月 27 日	入園者 1,000 万人達成について
5 月 16 日	カワウソの日イベントについて
5 月 29 日	グレビーシマウマの死亡について
6 月 3 日	オウムインコデーのイベントについて
6 月 16 日	ホタルと夜とファミリーパーク 2022 について
8 月 8 日	延長開園ナイトズーについて
8 月 12 日	アムールトラの死亡について
8 月 20 日	アミメキリンの出産について
8 月 22 日	悠久の森 2022 について
10 月 04 日	アミメキリンの命名式について
11 月 16 日	講演会「いのちの講話～動物から学ぶ生きる力～」について
11 月 25 日	ファミリーパーク冬期開園について
12 月 6 日	希少動物保全基金講演会「絶滅危惧種ヨウムの将来を考える」について
1 月 16 日	ライチョウ基金シンポジウム 2023 の開催について
3 月 6 日	オリジナルパッケージコーヒーバッグ「ハッピーアニマルコーヒー」の販売について

3月10日	春の開園「『好き』が見つかるファミリーパーク」について

（4）里山事業

①里山保全管理・整備研究事業

ホタルのおやどや湿地帯の管理を行ない、ホタルなどの水生生物の生息環境の保全に努めた。また、市民いきものメイトと共に絶滅危惧種であるホクリクサンショウウオの産卵地の整備・維持に努めた。

園内・六泉池については、東老田自治会と協力して池干しを行うことで、ため池の生態系の保全に努めた。

自然散策路の整備を行ったほか、団体と共に二次林に侵出したモウソウチクやコナラ植樹地林内の藪の除伐を行い、自然植生の保護をしながら里山の自然を楽しめる空間の造成に努めた。

②里山活用事業

里山の見どころをホームページや園内に生息する野鳥、昆虫、草花など、季節ごとの見どころを「自然だより」で園内掲示し、情報発信した。また、参加者の自然に対する興味を引き出す「里山ガイド」を行い、園内の自然や野生動物を解説し積極的に普及活動をした。また、保育所や小学校には自然を活用した体験や観察で身の周りの環境に目を向け、学びにつながるきっかけづくりをした。

さらに、「呉羽丘陵フットパス月いちウォーク」の実施を通して、呉羽丘陵フットパスの利用を推進するとともに、ファミリーパークの呉羽丘陵の活動拠点としての機能の強化に努めた。

事　　業　　名	実施日数	参加者数
① ムササビ村　観察モニター	常設展示	—
② 野鳥観察舎　情報展示	常設展示	—
③ 園内自然散策路「自然だより」	常設展示	—
④ 「ホタルと夜とファミリーパーク」ホタル観察会	2日	1,634名
⑤ 里山ガイド	5日	457名
⑥ 富山市立古沢小学校　総合的な学習	2日	34名
⑦ 富山市立古沢保育所 「ファミリーパーク里山自然体験」	3日	61名
⑧ 呉羽丘陵フットパス月いちウォーク	12日	2,309名
合　計	17日	4,495名

5　収益事業等

バードピアのオープンに併せ、国際希少野生動植物であるアカコンゴウインコをデザインしたオリジナルタオルハンカチや、3 月にはファミリーパークで飼育展示しているヨウムなど7種をデザインした国際フェアトレード認証を受けたコーヒーバックの販売を開始した。その売り上げの一部は希少動物保全基金に寄付することとした。さらに、熱帯地方をイメージした限定メニューを土日祝日に販売した。

食堂においては、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の対策を講じながら、営業に努めた。

（1）　売店・食堂等

事　　業　　名	実施日数	数
① 移動販売車（悠々ワゴン）でのアイスクリーム販売	26 日	3,880 個
② オリジナル「雷鳥サブレ」の販売	―	2,551 枚
③ オリジナル「タオルハンカチ」の販売	11/1～	46 枚
④ 限定メニュー「レインボーケーキ」「トロピカルフルーツみつ豆」	9/17～ 土日祝限定	187 個
⑤ ナイトズー「牛乳パックランタン作り」	3 日	127 名
⑥ フェアトレード商品オリジナルパッケージ「ハッピーアニマルコーヒー」の販売	3/15～	463 袋

（2）ホースライド事業

事　　業　　名	実施日数	参加者
① 在来馬を活用した事業		
ゆらゆら乗馬（木曽馬）	180 日	3,787 名
障害者乗馬会 「障がいのある方のための乗馬会」	1 日	7 名
② ナイト乗馬（8 月）	1 日	2 名
③　エサやり体験	322 日	50,340 名

売店・食堂等売上状況

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

施設名			売上高	前年度実績	床面積・卓数・脚数
販売収入	売店	きりん食堂	5,071,130円	2,692,233円	109.87㎡
		かふぇムー	8,961,577円	6,928,613円	55.00㎡
		2店計	14,032,707円	9,620,846円	164.87㎡
	食堂	きりん食堂	3,345,260円	1,669,570円	309.13㎡　11卓　26脚
		かふぇムー	8,913,420円	5,863,240円	250.00㎡　17卓　36脚
		2店計	12,258,680円	7,532,810円	559.13㎡　27卓　62脚
	悠々ワゴン		775,900円	445,700円	
	出店等		3,059,608円	1,066,126円	
	ホースライド		8,226,600円	6,292,400円	ゆらゆら乗馬、人参販売
その他の収入	ベビーカー使用料		467,700円	394,500円	60台
	バーベキュー使用料		693,100円	148,700円	ガス:10人掛×1卓・8人掛×9卓 炭:10人掛×5卓・4人掛×6卓 計　156脚
	自動販売機手数料		2,532,949円	2,111,580円	
	その他		1,390,655円	1,291,286円	移動販売手数料、バッテリーカー等
事業収入			43,437,899円	28,903,948円	
雑収入			16,000円	318,600円	
合計			43,453,899円	29,222,548円	

6　公益財団法人富山市ファミリーパーク公社役員について

（令和5年3月31日現在）

（1）評議員会

評議員	澤野　重雄	富山市建設部公園緑地課長
評議員	城岡　　真	富山市ファミリーパーク動物友の会会長
評議員	杉本　周児	富山市建設部次長
評議員	田畑　裕二	元富山西ライオンズクラブ会長
評議員	中川　美彩緒	前富山県水墨美術館長
評議員	廣本　幸雄	市民いきものメイト会長
評議員	村藤　幸作	前古沢地区自治振興会会長

（2）理事会

理事長	美濃部　雄人	富山市副市長
常務理事	帯刀　宏隆	富山市ファミリーパーク公社
理事	今井　壽子	花街道薬膳のまちを夢みる会理事長
理事	中村　　勇	富山市北商工会呉羽支部長
理事	鏡森　定信	前きんたろう倶楽部理事長
理事	北森　正誠	呉羽地域連合自治振興会会長
理事	山元　政彦	富山市建設部長
理事	安井　俊夫	輝けいのち協議会会長
監事	奥村　信雄	呉羽ハイツ支配人
監事	酒井　秀祐	富山市会計管理者

7　理事会等議決事項について

（1）理事会　令和4年5月30日開催

・令和3年度事業報告について
・令和3年度収支決算について
・定時評議員会の招集について
・任期満了に伴う理事及び監事の推薦について
・補充評議員の推薦について

（2）評議員会　令和4年6月17日開催

・令和3年度貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）並びに付属明細書の承認の件について
・任期満了に伴う理事及び監事の選定の件について
・評議員の辞任及び選任の件について

（3）理事会　令和4年6月17日開催（決議の省略）

・代表理事（理事長）及び業務執行理事（常務理事）の選定について

（4）理事会　令和4年6月26日開催（決議の省略）

・評議員の招集について

・理事長の辞任に伴う理事の推薦について

（５）評議員会　令和４年７月１日開催（決議の省略）

・理事の選任について

（６）理事会　令和４年７月１日開催（決議の省略）

・理事長の選定について

（７）理事会　令和５年３月24日開催

・令和４年度補正予算について

・令和５年度事業計画について

・令和５年度収支予算について

（８）理事会　令和５年３月27日開催（決議の省略）

・評議員会の開催について

８　基本財産等の管理について

（１）基本財産　30,000,000円

① みずほ信託銀行　10,000,000円

預入期間　平成30年４月16日～令和５年４月16日

② 三井住友信託銀行　10,000,000円

預入期間　令和４年４月21日～令和９年４月21日

③ なのはな農業協同組合　10,000,000円

預入期間　平成30年４月10日～令和５年４月10日

（２）定期預金及び投資有価証券　127,861,662円

（定期預金）

① 北陸銀行　6,785,662円

預入期間　令和５年３月27日～令和６年３月27日

② 北陸銀行　10,000,000円

預入期間　令和４年10月12日～令和５年10月12日

③ 北陸銀行　5,538,000円

預入期間　令和４年10月12日～令和５年10月12日

④ 富山第一銀行　10,000,000円

預入期間　令和４年10月６日～令和５年10月６日

⑤ 富山信用金庫　10,000,000円

預入期間　令和４年10月11日～令和５年10月11日

⑥ 富山銀行　10,000,000円

預入期間　令和４年５月２日～令和５年５月２日

⑦ 富山市農協　10,000,000円

預入期間　令和４年４月８日～令和５年４月８日

⑧ あおば農協　10,000,000円

預入期間　令和4年5月 2 日～令和5年5月2日
⑨ 高岡信用金庫　10,000,000円
預入期間　令和4年5月2日～令和5年5月2日
⑩ 新湊信用金庫　10,000,000円
預入期間　令和5年3月31日～令和6年3月31日
⑪ 富山県信用組合　10,000,000円
預入期間　令和4年5月13日～令和5年5月13日
⑫ 北陸労働金庫　5,538,000円
預入期間　令和4年5月13日～令和5年5月13日
（投資有価証券）
① 大阪府公募公債　20,000,000円
保有期間　平成30年1月30日～令和10年1月28日